

情報量が多く読みにくいかもしれませんが、目を通してもらえると幸いです。

帯広市立翔陽中学校 学校だより NO.9



《学校教育目標》 豊かな心で たくましく 意欲をもって 希望(ゆめ)を叶えよ

《今年度スローガン》 揺るぎない翔陽プライドの確立

令和7年11月28日(金)

帯広市立翔陽中学校

校長 大泉 昭人

TEL 24-3121

ホームページはこちら →



翔陽中HP

校則見直し 生徒会からの提案



生徒会役員 職員会議で提案

校則(服装)の一部改定について、10月の生徒総会で可決・決定しました。生徒会執行部は、昨年の生徒総会で出された意見をもとに審議を重ね、職員会議で提案し、今回の総会に臨みました。

制約は少ないほどいいです。でも、目的や必要があって約束は作られてきました。**約束を見直すとき、「なぜ作られたのか」を考え、「変える根拠」を明確にし、「変更したときに起こる問題」を全てクリアすることが必要です。**



生徒総会で提案



前期役員(左から)白井会長、久々副会長、景山副会長、市川事務局長、瀬戸事務局長、森末会計



後期役員(左から)市川会長、渡邊副会長、森末副会長、瀬戸事務局長、高木事務局長、塩見会計

生徒会からはその具体が示され「改定には個々の責任が不可欠」と提案されました。より良い学校生活を送るために、「自由と責任」「権利と義務」について主体的に考え、行動に移す姿は頼もしい限りです。今回、自分たちで作った約束をぜひみんなで見守ってほしい。

<校長のつぶやき> ~より良い学校生活をおくるために~

「時を守り、場を清め、礼を尽くす」(森信三)

(時間・期日を守る)(清掃・整理整頓)(伝わる挨拶・返事)

⇒ 人を尊重する ⇒ 心を磨く ⇒ 信頼関係をつくる

※ より良い未来の創り手として、みんなで身につけたい習慣です。

「多くの偉人は「良い習慣が良い人生を創る」と伝えています」
「ある人は「小さな積み重ねが高みに行くたゞ一つの道」とも」

生徒会企画 地域の一員として

◆ 落ち葉ひろいボランティア <10~11月の4日間>

「いつもお世話になっている地域のために何かできないか」という思いのもと、生徒会の呼びかけで募ったボランティア150名が敷地外側の落ち葉集めを行いました。



翔陽ボランティア

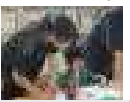


春に「SMILE」を作成 グリーンクラブ

また、有志「グリーンクラブ」は春の花壇づくり、秋の片付けをPTAと協働で行い、夏の水やりや雑草抜きなどを熱心に取り組んでくれた生徒もいました。

◆ 学習ボランティア <夏冬休み>

夏休み小学生の「学習会」支援や、「お花教室」「理科実験教室」のお手伝いをしてくれました。冬休みも「お花教室」「理科実験教室」を予定しており、お手伝いを募集します。



小学生に教える翔陽生

エリア連携 地域の中で育つ生徒たち

将来「**自立し、幸福な人生を切り拓いてほしい**」という願いのもと、生徒一人一人が、**自立に必要な力**を獲得し、**自分らしい生き方**を見つけられるよう、多くの人の力をお借りしながら教育活動を進めています。地域の皆様のご協力により、生徒たちは、**社会の創り手**として、**職業人**として、**家族の一員**として、将来の生き方を考えるきっかけをいただきました。ありがとうございます。

□ 郷土学習(1年生) <10月17日>

1年生は、郷土学習の一環で「ウォークラリー」を実施しました。生徒たちは25班に分かれて「帯広発祥の地」であ



る校区の史跡を巡り、先人の開拓者魂に触れながら**帯広の歴史と文化**について調べました。この後、修学旅行の

自主研修では道南・道央について調べ、**帯広市の魅力の再発見や未来を考える学習**へとつながっていきます。



まとめの発表

□ 職場体験(2年生) <10月16~17日>

2年生は、進路学習の一環で「職場体験」を実施し、本校近隣の32事業所に分かれて実習を行いました。各職場では職



員の皆様にあたたかく受け入れてもらい、**働くことの大変さや面白さ、やりがい**など、貴重な体験を通して教えていただきました。生徒たちの感想には、感謝や働くことへの意欲が多く語られており、改めて**働く意義や職業観について考えを深めることができた2日間**だったようです。



まとめの発表

□ 保育所実習(3年生) <9月上旬>

3年生は、家庭科「幼児の生活と家族」の学習として、帯広保育所とあじさい保育園にご協力をいただき実習に行ってきました。生



徒は工夫を凝らした**自作の「幼児向けおもちゃ」**を持参して園児と交流しました。最初は緊張の面持ちだった生徒たちでしたが、無邪気に遊ぶ園児の姿に表情が緩み、**小さな子から目を離せない責任を感じながら、優しい笑顔で遊ぶ姿は、まるで保護者のようでした。**



大人も学ぼう！ 熱中翔学校

◆ 勉強法と進路 <9月29日 35名参加>



- ー 本校地域支援本部主催 ー
- ①「基礎基本の定着のための勉強法」
(講師：畜大錬成会塾長 森下氏)
- ②「高校でかかるお金の話」
(講師：本校主幹教諭 関澤氏)

◆ 教育講演会「子育て」 <10月23日 100名参加>



- ー 本校PTA事業部と本校エリアファミリー共催 ー
- 「親のメンタルが子どもを育てる！」
(講師：Total beauty salon MIs 代表 森氏)
- 子どもの自己肯定感を高める親の言葉がけについてお話いただきました。

PTA 家庭と学校をつなぐ活動

本校は主に4つの小学校から集まる中学校です。子どもたちは新たな人間関係づくりから始まりますが、保護者どうしや職員も同様です。お互いに顔見知りになることで、子どもたちの安心につながるという思いから、本校PTAでは「つながる」ことを大切に活動を進めています。

◆ 「情報でつなぐ」広報誌発行 <10/15広報部>



職員紹介や行事での生徒の様子、PTA活動紹介など、家庭と学校をつなぐ情報誌として発行してくれました。また、活動を通して会員同士の交流も大事にしています。

◆ 「スポーツでつなぐ」ミニバレー大会 <11/7社会部>



参加者は94名、川口教諭の楽しいウォームアップから始まり、学級対抗で15分×6試合行いました。好プレー珍プレーが続出し、会場は笑い声でいっぱいでした。

普段なかなか顔を合わせられない会員同士ですが、汗を流しながら楽しく歓談する機会となりました。



◆ 「地域貢献でつなぐ」環境整備活動 <10/25事業部>



季節は移ろい、学校周辺の落葉が進むなか、校地外の落ち葉集めと花壇の片付け作業を行いました。

会員・生徒合わせて35名が参加し、おしゃべりしながら楽しく作業を行いました。



◆ 「子育てでつなぐ」教育講演会 <10/23事業部>



翔陽中エリアファミリー共催で実施しました。(詳細は上記のとおり)
「子育て」をテーマに、会員同士が学び合う貴重な機会になりました。

◆ 「校区でつなぐ」翔陽中グループ会議 <11/21役員>

校区の小中学校(本校・帯広小・柏小・東小・光南小)のPTA役員による合同の会議を懇親も兼ねて実施しました。各校のPTA活動の取組について交流しながら、役員同士の親睦を深めています。



※ この他、総務部で懇親会や茶話会を企画したクラスもありました。

各種大会より

(～10月中旬)

◆ 校内意見発表会 「私の思い言葉にのせて」

夏休みから全校生徒で取り組み、学級発表、学年選考を経て、10月3日に全校発表を行いました。疑問や葛藤に対して「自分や周囲はどうしたらよいのか」を考え、自分たちの在り方や生き方を中学生の視点で発表し、思いを言葉で伝え合いました。

生徒たちはお互いの発表を聞きながら聴き、自分の考えを深めたり、広げたりしていました。

<全校発表に選ばれた学年代表>



- ・須田さん(1-3)「私が奏でる音」
- ・加藤さん(2-3)「自分さえできていけばいい?」
- ・佐藤さん(3-2)「悩む」
(佐藤さん③が学校代表として帯広市大会へ)

◆ 帯広市中中学生からのメッセージ <11月8日>

・佐藤さん(3-2)「悩む」**優良賞** 悩むことや考えるという過程が、よりよい人生の選択や判断力の向上につながる大切な経験だと主張。共感をよぶ素晴らしい発表でした。



□ 夏休み児童・生徒書道展 <10/19審査> 11/29表彰

- ・中2の部 加藤さん② **入選** 高道さん② **入選**
- <展示> 帯広市民ギャラリー11/27～12/2 (10時～18時、最終日は16時まで)



□ 帯広市児童生徒読書感想文コンクール

- <10/10>11/22表彰 中学校の部第2類
- ・須田さん③「わたしは食べるのが下手」を読んで「もの言えば むねひらけるわざり」**最優秀賞**
- ・須田さん①「光の粒が舞いあがる」を読んで「光の粒」を抱きしめて **優秀賞**

□ 青少年読書感想文全道中学生作文コンクール

- <10/30審査> 12/7表彰
- ・須田さん① **全道特別賞** (北海道教育文化協会賞)
- ・須田さん③ **全道優良賞**



□ 中学生作文コンクール <11/7審査> 1/13表彰

- ・須田さん③ **全道賞** (北海道学校図書館協会会長賞)
- (須田さんの入賞に伴い、翔陽中学校は「**学校特別賞**」をいただきました)

□ 北海道中学駅伝競走大会 <10/18新得町>

- <男子> 2部: **全道4位** (1時間02分09秒)
- 十勝選抜として片平さん③が出場



□ 全十勝秋季卓球大会 <10/18-25>

- <男子> 個人: 惜敗
- 団体: 翔陽中1-4札東中、翔陽中1-4南町中 予選3位
- <女子> 個人: 惜敗



□ 全十勝秋季柔道大会 <10/19>

- <男子> 個人: 永田さん② **第3位**
- <女子> 個人: 堂前さん② **優勝**

□ 北海道和道流空手道大会 <10/12>

- ・形個人戦: 中学男子: 後藤さん① **全道優勝**
- 後藤さん③ **全道準優勝**



□ 全十勝中体連軟式野球 優秀選手賞

- <10/5>
- ・投手: 青木さん③ 優秀選手賞に選出



□ 北海道トレセンU-14 代表選手

- ・宮本さん② 北海道代表選手に選出



※ 地区大会の個人種目は入賞者を紹介しております。

<特集> 各種調査結果より

(保護者向けの内容です)

全国学力・学習状況調査

令和7年4月に3年生を対象に実施した結果(概要)は以下の通りです。なお、詳細については改めて後日お伝えします。



◆「学力調査」

<国語> 平均正答率が全道・全国平均を上回っている。

- 自分の考えが伝わるように表現を工夫できる。
- 登場人物の設定の仕方を捉えることができる。
- ▲読み手の立場に立って、文章を整えることができる。
- ▲根拠を明確にして記述することができる。

<数学> 平均正答率が全道・全国平均を上回っている。

- 必ず起こる事柄の確率について理解している。
- グラフから必要な情報を読み取ることができる。
- ▲式の意味を読み取り、数学的な表現で説明できる。
- ▲相対度数の意味を理解している。

<理科> 平均正答率が全道・全国平均を上回っている。

- 加熱実験の操作に関する技能が身につけている。
- 情報収集についての知識・技能が身につけている。
- ▲ボーリング調査から地層の広がり表現できる。
- ▲仮説を立て、実証実験を計画することができる。

◆「生徒質問」

<全道・全国比> ○…大きく上回る、▲…下回る

- 自分にはよいところがある。
- 先生は分かるまで教えてくれる。
- ▲平日、学校以外で1時間以上学習している。
- ▲自分で学び方を考え、工夫することができる。

◆「結果の分析から」

<特徴>

①経年変化より

- ・現中3を10年前の本校中3と比較すると、家庭学習時間が大きく減少し、学習以外のスクリーンタイムが大きく増加した。(家庭で過ごす時間:学習→スマホ等視聴へ)
- ・現中3を小6時と比較すると、3教科とも正答率が全国より高く、その差は大きくなった。

②クロス集計より

- ・学校以外で1時間以上学習している生徒は、正答数が高い傾向。
- ・困った時に大人に相談できると回答した生徒は、正答数が高い傾向。

③ウェルビーイングに関する質問(自己肯定感など)より

- ・14項目中9項目で、全国平均を上回っている。

<改善の方策>

①学習内容を着実に定着させる取組をしています

- ・反復による基礎基本の定着
- ・家庭学習の取り組み指導
- ・学び直しと発展的学習の実施

②説明したり考えを表現したりする活動を行っています

- ・作文の書き方指導
- ・場面に応じた表現の指導
- ・分かったことや過程を言葉でまとめる場の設定

③生徒指導の視点※を生かした学習スタイルで臨んでいます

- ・生徒指導の視点をいかした教育活動を通して、個別最適な学びと協働的な学びに取り組む環境づくり

④実効性を高める取組をしています

- ・授業アンケート等を活用した短いスパンでの見直し
- ・校内研修や各種研修の活用

<関連する直近の取組>

◆「わかる・活躍の場がある授業づくり」

<校内研究>

研究テーマ「学習指導と生徒指導の一体化」～生徒指導の視点を

生かした授業づくり～により、生徒の自己指導能力の向上をめざし

て、計画的に校内研修(教員や関係者による授業参観や協議)を行っています。2学期は、全体研修(アセス等をも

とにした生徒理解、生徒指導の視点を生かした学習者主体

の授業の在り方など)、授業研修(11月は10本のミニ授業

研究、11月11日に指導主事を招いて全

学年の研究授業と協議)、通信や資料を活用した書面研修など、理論や事例に照ら

しながら授業づくりを進めています。

授業後の研究協議



研究、11月11日に指導主事を招いて全学年の研究授業と協議)、通信や資料を活用した書面研修など、理論や事例に照らしながら授業づくりを進めています。

<エリア研修>

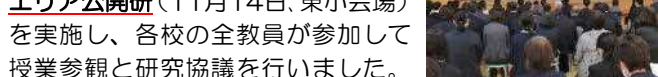
翔陽中エリア(校区小中学校)で組織するプロジェクト

チームでは児童生徒の学習状況について意見交流を行い、

エリアとして「書くこと」を重点とした取組を各校で進めています。また、

エリア公開研(11月14日、東小会場)を実施し、各校の全教員が参加して

授業参観と研究協議を行いました。



<授業アンケート>

生徒の学習状況等の把握と変容を見るために定期的に実施しています。その他の調査やテスト結果の分析も行い、

短いスパンで成果や手立てを検討しています。

<6月結果(全校)> 次は12月に実施予定

- ・学習内容がわかる(5教科平均) … 79%
- ・話し合い活動で考えを深め広げている … 84%
- ・先生は分かるまで教えてくれる … 73%
- ・根拠を明確にして自分の考えを書く … 68%
- ・学習方法を自分で選択する時間がある … 84%

◆「学習調整と学習習慣づくり」 <手引き、学習委員会>

<家庭学習の習慣化>

春より「家庭学習の手引き」を使って取

り組み方を指導し、宿題や課題以外に自学

ノートなどを活用して習慣化をめざしてき

ました。また、生徒会学習委員会の作成した学習プリントや呼びかけ、先生

からの励まし・助言を受け、工夫しながら粘り強く取り組む生徒が少しずつ

増えてきました。



学習委員会の自作プリントも活用

<塾講師による放課後学習会>

3年生を対象に「はばたき

学習クラブ」(塾講師版)を

9～10月の5日間実施しま

した。教科は数・英・理で参加者はのべ75名、生徒は質問

をしながら熱心に学習に励んでいました。

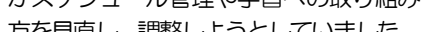
<学習調整の支援>

テスト計画表の振り返りや、教育相談

(10/22～31実施)により、多くの生徒

がスケジュール管理や学習への取り組み

方を見直し、調整しようとしていました。



学習の振り返り

※ 生徒指導の視点 … ①自己存在感の感受、②共感的な人間関係の育成、③自己決定の場の提供、④安全・安心な風土の醸成

学校満足度アンケート

◆「上半期の結果」 <○…80%以上、▲…70%未満>

<生徒> 15問中8問(1減)が高い評価、1問(同じ)が低い評価

- いつも元気に挨拶し、適切な態度や言葉遣いをしている。
- 学校生活や社会のルールを守って生活している。
- 仲間を尊重し、思いやりの気持ちをもって接している。
- 先生は意見を出し話し合う授業となるよう工夫している。
- 部活動等に一生懸命に取り組み、楽しく参加している。
- 登下校時、交通ルールやマナーを守っている。
- 学校が発行する「たより」に目を通し、内容はわかりやすい。
- 先生方は相談にのってくれたり教えてくれたりしている。

▲長期休業中や放課後の学習会に機会があれば参加したい。

<保護者> 14問中6問(3増)が高い評価、2問が低い評価(2減)

- いつも元気に挨拶し、適切な態度や言葉遣いをしている。
- 授業を工夫し、意欲を高め、定着させる指導をしている。
- 個に応じた学びや学力向上への取組を適切に行っている。
- 行事等に意欲的・熱心に取り組み、楽しんで活動している。
- 部活動等に意欲的・熱心に取り組み、楽しんで参加している。
- 学校からの「たより」やメール等の情報発信は適切である。

▲いじめ防止や早期発見に向けた取組を適切に行っている。

▲体力向上に向けた取組を適切に行っている。

◆「結果の分析から」

<生徒>

- ・学校生活への満足度は高い傾向にあり、生徒指導の視点を生かした教育活動を実践している成果と考えます。
- ・家庭の教育力、保護者同士のつながり、学校との連携などから規範意識、社会的なマナー、人に対する信頼感、望ましい人間関係などが構築できていることがうかがえます。
- ・学習会については評価が70%未満でしたが、上昇傾向にあり、取組を工夫しながら継続していきます。

<保護者>

- ・保護者評価は年々上昇傾向にありますが、特に学校の教育活動への評価が顕著に上昇していました。学校への期待の表れとして、今後も精一杯取り組んでまいります。
- ・2問の評価が70%未満でしたが、いずれも改善傾向にあり、取組を見直ししながら継続していきます。

<生徒・保護者の比較より>

- ☐ 学校生活や社会のルールを守っている
- ☐ 登下校時、ルールやマナーを守っている。
- ・上記項目で、生徒評価は90%以上、保護者評価は80%未満で大きな差が見られました。主観指標の調査なので差は生じてしまいますが、今後も引き続き、生徒には約束の意義や主体的に守ることの大切さを、客観的な自分の姿と照らし合わせながら考えさせる教育活動を継続していきます。

<関連する直近の取組>

◆「いじめ防止と早期発見に向けて」

<相手意識の醸成> 道徳を要とする全ての教育活動を通して相手意識を醸成するとともに、生徒指導の視点を生かした教育活動を継続し、自己指導能力を高めていきます。

<いじめ撲滅運動> 笑顔で楽しく過ごせる学校づくりをめざして、生徒会が中心となって各種イベントや活動を企画し、交流を進めています。あいさつ運動、市いじめ



いじめ防止サミット



いじめ撲滅集会

防止サミット(6/24)、いじめ撲滅集会(11/27)などを通して、主体的にいじめ撲滅の啓発を行っています。(来月、エリアサミット、十勝地区会議も予定)

<多様な相談体制>

1. 早期発見のために(以下のツールを活用しています)

- ・心の健康アプリ(毎日)・翔陽版お悩みポスト(いつでも)・アセス(年2回)
- ・いじめアンケート(年3回)・心と体のチェックシート(夏冬休みの前後)

2. 相談する大切さや多様な相談相手を伝えるために

- ・SOSの出し方授業・いのちの授業等
- ※授業の中で、多様な相談相手(担任以外の先生やSC、相談員、相談電話等の連絡先)を伝えています。また、「翔陽版お悩みポスト」では相談したい相手を指名できることも伝えています。

3. 教育相談の実施

- ・教育相談(年2回)・面談(随時)



◆「体力向上を目指して」

<運動量を確保した体育> 効率的な体の使い方の指導や、基礎的な筋力を向上させる運動を取り入れ、運動量を確保した授業展開を行っています。また、球技大会(Sリーグ)



創作ダンス



Sリーグ

を通して、生徒は様々な種目の特性や楽しさを味わい、対抗戦を通して仲間意識を高めています。

◆「約束の意義を考え、主体的に守るために」

<考え議論する道徳>

「約束を守る意義」「自由と責任」「権利と義務」等をテーマに、対話により考えを深め、適切な判断・行動について考える学習を行っています。



約束を守る意義について意見を交わす生徒

<安全教室> (「スマホ等安全教室」は12/1 予定)

「自分を守り、みんなを守る」をテーマに、年間を通して各種安全教室を実施し、正しい知識や約束を守ることで安全・安心な生活が成り立っていることを学んでいます。

<校則の見直し、約束の意義を考える>

約束を見直すことを通して、主体的に約束をつくり、守るという行動を実践しています。



生徒総会での提案

12月 行事予定

- 1日(月) 携帯・スマホ安全教室
- 2日(火) おび学「SDGs 出前講座」(2年)
- 3日(水) いじめ非行防止エリアサミット(生徒会)
- 4日(木) 学年末テスト(3年)
- 5日(金) おび学「選挙出前講座」(3年)
- 8日(月) おび学「防災講座」(1年)
- 11日(木) 標準学力調査(2年)
- 12日(金) 授業参観・懇談会(全校)
- 16日(火) おび学「食育指導」(3年・8組)
- 20日(土) 生徒会委員会
- 22日(月) 選抜優勝大会(バレー)
- 22日(月) 大掃除
- 23日(火) 終業式
- 24日(水) 冬季休業~1月8日(木)
- はばたき学習クラブ①(830~1030)

- 25日(木) はばたき学習クラブ②(830~1030)
- 親子「お正月飾り教室」(1040~1140)
- 26日(金) はばたき学習クラブ③(830~1015)
- 親子「理科実験教室」(1030~1200)
- 29日(月) 学校閉庁日~1月3日(土) ※部活等も休業日です
- 始業日は1月9日(金)

冬休みの学習会に、ぜひ参加を!

- ①はばたき…宿題はもちろん、2月の各テストに向けて準備するチャンスです
- ②お花教室…お正月飾りを作ります
- ③実験教室…普段の授業ではできない発展的実験

- ※ ①は小学校の先生や高校生・大学生が来てくれます(当日飛び入り可、親に伝えて)
- ※ ②③は校区の小学生や保護者も参加できます